

## 平成 26 年度第 2 回長野市立図書館協議会開催概要

1 日 時 平成 27 年 2 月 19 日（木）午前 10 時～11 時 30 分

2 場 所 長野図書館 3 階会議室

3 出席者

- (1) 委 員 9 名 安藤裕子委員、風間悦子委員、倉島志枝委員、小林布美子委員、  
芝山豊委員、富田純子委員、中澤惇夫委員、西澤茂委員、森山環委員  
(欠席 齊藤京子委員)
- (2) 事務局 13 名 教育次長 藤沢孝司  
生涯学習課 松本孝生課長、丸田そのみ課長補佐、徳武陽子主事  
長野図書館 川島常照館長、戸谷元幸館長補佐、西山麻美子係長、  
笠原隆志係長、小林晴和係長  
南部図書館 山上由喜人館長、長澤久典館長補佐、柳沢克彦係長、  
市川文彦係長

4 次 第

- (1) 開会（戸谷館長補佐進行）  
(2) 任命書交付（中澤惇夫委員に交付）  
(3) 教育次長あいさつ（藤沢教育次長）  
(4) 委員長あいさつ（芝山委員長）  
(5) 協議事項（議長：芝山委員長）

ア平成 26 年度主要事業実施概要について（会議資料：平成 26 年度主要事業実施概要）

イ平成 27 年度主要事業計画（案）について（会議資料：平成 27 年度主要事業計画（案））

ウ（仮称）長野市立図書館基本計画について（会議資料：「（仮称）長野市立図書館基本計画」  
の策定について）

エ その他

(6) その他

5 概 要

{あいさつ}

藤沢教育次長：

皆さんおはようございます。本日は、お忙しい中、本年度第 2 回目の図書館協議会にご出席を  
いただきありがとうございます。

私は、教育委員会で行政部門を担当しております、教育次長の藤沢でございます。どうぞよろ  
しく願いいたします。

長野市立図書館は、教育・文化の発展のため重要な施設であり、市民の皆様の生涯学習の場、  
また情報提供の場として皆様のご要望に応えるべく、ご利用いただきやすい図書館を目指して、  
努力しているところでございます。

本市では、平成 24 年度制定の「長野市生涯学習推進計画」に基づきまして、生涯学習施設と

して、特にデジタル化に代表される急激な時代の変化の中で、社会や市民の皆様のニーズを把握し、それらに対応した取り組みをしていかなければならないと考えております。

現在、インターネットや携帯電話、最近ではスマートフォンと、様々な情報が得られることなどから、若年層の活字離れが進んでいると言われております。長野市立図書館の利用状況をみましても、平成 26 年度は昨年度と比べまして、利用登録者、貸出利用数がともに減少しております。

こうした流れの中で、25 年 12 月、6 年ぶりに図書館のシステムの更新を実施いたしまして、電子社会に対応すべく、従来に増して利用しやすい図書館環境の整備をしたところでございます。

これからの図書館像といたしまして、本市の特色を生かした図書館サービスを進めるということで、将来ビジョンを作成しまして、それに沿ったサービスを提供できるよう、長野市立図書館の基本計画を策定しようと準備を進めているところでございます。現在、教育委員会の事務局内で検討しており、来年度には、外部委員の皆さんを交え策定委員会を設置し、専門的見地や市民の目線から審議していただいた上で、決定する予定でございます。

委員の皆様方には、今年度 2 回目の協議会でございますが、長野市立図書館をより市民の皆様が親しみやすく、またご利用しやすい図書館とするために、本日も忌憚のないご意見をいただき、これからの図書館運営に生かしてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

芝山委員長：

おはようございます。芝山でございます。この協議会も、私担当させていただいて 2 年ということで任期満了が近くなってまいりました。皆様と直接お目にかかってお話させていただくのも、今回は最後となります。

世界も日本もどちらかという反治世主義的に、かなり動いてきている感じがいたします。図書館というのは、そういう傾向に抗うために大事な場所だと思います。小さなお子さんから高齢者にいたるまで、図書館を通じて我々が残していくべきもの、我々が引き継いできたものを守って、市民の知の拠点を更によりよいものにしていかなければと思っています。

先程、藤沢さんからお話がありましたように、長野市としては新しい図書館像の協議が更に進み、新しいものが出来ていくということですので、本日もその方向に沿って、忌憚のないご意見を頂戴できればと思います。どうぞ、よろしく願います。

事務局：(欠席委員報告、資料確認、会議成立報告、日程説明等)

議長：それでは協議事項に移ります。最初に、平成 26 年度主要事業実施概要について説明をお願いします。

事務局：(会議資料：平成 26 年度主要事業実施概要により、長野図書館、南部図書館の順に説明)

議長：それでは、説明のありました実施概要について、ご質問等ございますでしょうか。

委員：意見ではないんですが、地震のとき図書が全部落ちたと伺ってゾッとしました。対応大

変ご苦勞様でした。

委員：学校の方に読みがたりに行かされている、通明小と書いてあったんですけど、他の学校からも依頼があれば来ていただけるのでしょうか。

事務局：依頼があれば、行きたいと考えています。

委員：小学校でも、お子さんがいるおじいちゃんおばあちゃんとか保護者など、時間が空いているとき朝読みがたりをしている学校が結構あるんですけど、それでも少ないんですね。行くのが大変だったり、本を探すのが大変だったり、ボランティアで行っている保護者の方が少ないので、そういうのがあれば、子どもに本を読んでもらう機会があれば、子どもはすごく輝いた目で聞いているので、是非そういう機会を多く持っていただければありがたいと思います。

議長：ありがとうございました。他にご質問やご意見があるかた。

入館者の数や貸出冊数も、若干前年度よりマイナスになっていて、一方アクティビティについては前年度よりかなり参加者が多かったと言いましたが、その辺の分析はありますでしょうか。

事務局：おたのしみ会等については、天候の影響がかなり大きく、2月7日のお楽しみ会は大雪でございまして参加者も減っております。実施する内容は、ボランティア団体の皆さんと相談しながらやっておりますが、毎年大きく変わっておりませんので、やはり天候の影響が大きいと思います。入館者そのものは、先程説明したようにほぼ横ばいなのかなと思います。貸出数については、平成22年度をピークに少しずつ減っております、この辺の理由については、分析しきれっておりません。

議長：ありがとうございました。それでは、平成26年の実施概要はこれくらいでよろしいでしょうか。引き続き2番目の協議事項に移らせていただきます。平成27年度主要事業実施計画（案）について説明をお願いします。

事務局：（会議資料：平成27年度主要事業計画（案）により、長野図書館、南部図書館の順に説明）

議長：ありがとうございました。それではご説明いただきました平成27年度主要事業計画（案）につきまして、何かご質問・ご意見はございますでしょうか。

委員：色々と催しとか子ども会についてですけど、子どもたちに対してはあるんですが、高齢者に対して催しや会がないということは、どうなんですか。図書館については、住民なり国民なりの教育・文化などの発展というものがあります。今、高齢化になってきて

いて、高齢者にとって時間というものは、人によってですが割合あるのかなと思うんです。そういう点で、平成26年度・平成27年度の話を知っていたら、高齢者向けのサービスが見受けられなかったんで、そういうことについてはどう考えているか、お聞きしたいと思うんですが。

事務局：ご指摘のとおり長野・南部図書館とも、今まで子どもたちに対する催しを中心に企画等してきています。長野図書館で言えば、柱として子どもたちに対する活動と視覚障害者に対する対応の、2本柱でまいりました。ただ、図書館には、色々な利用者がいらっしゃいます。高齢者の方、一般の方、場合によっては外国人の方とか色々出てきますが、今後の課題として何か実施しなければいけないという認識は持っています。先程説明しましたが、今年・27年度で図書館基本計画を作成しますので、この中に盛り込んで具体的に実施できるよう考えていきたいと思えます。特に、高齢者に対するものは、少し力を入れていかなければと考えています。

委員：私もそう思うんですけれど、高齢者に対しては地域でお茶のみサロンがものすごく盛んです。私たちボランティアは、よくそこに出かけて行ってお話します。ご年配の方は、わざわざ遠くまで出かけて行くのも大変ですし、すごく地域の手厚いもので間に合うのかなと思うんですけど。すごく気になっているのは、地域で役員をしておりまして10数名役員がいますが、図書館というのは中年層にあまり便利ではないのかなと思うんです。例えば、インターネットサービスが充実していますが、私たち役員10数名の中でパソコンにさわれる人がいないんです。例えば、表を作るとか文章を作成して配布するとか、不得手で不慣れな人が中高年に多いのではないのでしょうか。また、図書館に行ったことがあるかと聞いたら、ぜんぜん行ったことがない人が多くて、もっと中年層に親しみやすい何かがあるほうがいいのかと思います。

委員：今言われたお茶のみサロンとか、私もかかわっています。しかし、そういう所へ来る人以外の方で、定年後中には今までとは違って自分自身で何か勉強しようと考えている人に、図書館という方へ目を向けてもらえば、いろんな情報が得られるとわかってもらえる。高齢者の方に対しても、図書館ではこういうことをしているとアピールし、利用できるような仕組みや方法を考えて、今度の計画の中に組み込んでいただければありがたい。

議長：貴重なご意見ありがとうございました。最初のあいさつで申し上げたように、あらゆる世代に対するサービスということでこれから中身を充実させて頂く、ちょうど次の議題もそのことにかかわってくると思えますので、そういう点も考えていただきたい。それから、デジタルディバイドという問題もありまして、皆が皆コンピュータやタブレットにアクセスできるわけではないので、そのあたりも含めて内容を充実させていただくということでお願いします。その他ございますでしょうか。

委員：あかちゃんのおはなし会で、ベビーマッサージとありますがこれはどんな内容なんでした

ようか。

事務局：ベビーマッサージというのは、看護師さんの指導により、赤ちゃん向けのマッサージを行うということです。あかちゃんのおはなし会が終了後、お母さん方の交流の場として、会議室を開放しています。

委員：交流の時間を持っていていただいているのは、すごくいいことだと思います。多くの人が利用していただければ、育児の悩みも話し合えるのでありがたいと思います。

議長：ありがとうございました。せっかくいい試みを実施されているので、もっと PR したほうが言いということですね。

委員：さっき、読みがたりのボランティアの養成ということで、また派遣について委員さんから意見がありました。学校で、読みがたりの講座を開くと募集をしたら、2回の講座なんですけど応募して学校に足を運んでくださった方が20名ほどいました。年齢はまちまちで、子どもたちの保護者から、一線を退いてこれから社会貢献をしてくださる方まで様々でした。学校での悩みは、読みがたりをして欲しいと思っても、どこにアクセスしたらいいのかわからないことなんです。サークルとのつながりを図書館にお願いできれば、読みがたりのボランティアを養成しつつ、図書館の職員を派遣することで、読みがたりの文化がもっと広がるかもしれません。その辺も少し考えていただければありがたいと思います。

議長：ありがとうございました。今のことも含め検討をお願いします。他にございますでしょうか。

委員：先程、地震の復旧工事を実施するというので、合計2ヵ月半休館になるという話が出ましたが、その間サービスの対策はどのように考えておられるか伺いたいのですが。

事務局：私たちも非常に危惧しているところです。サービスの低下になるので、心苦しく思っています。工事中特に天井工事中は、私たちも中に入れなくなることからやむなく休館となりますが、ご理解をお願いします。出来るだけ短くするよう業者と調整します。その間南部図書館は開館していますので、行ける方は是非利用をお願いしたいと思います。また、この期間を利用して職員のレベルアップの研修なども実施したいと考えています。

委員：一般に読みがたりをお願いしたいと考えたときには、図書館にお願いすればできるのではないかと考えます。図書館では、今あまりしていない気がします。生涯学習課の放課後プランでは、子どもたちが集まっている施設へ、登録した人たちが出向いてお話をするというのは、スムーズに要請すればできます。図書館に話が来たときに、講師の紹介がスムーズに出来ればいいかと思っています。

事務局：読みがたりの講師派遣の件ですが、南部図書館では読みがたり養成講座を開催しています。講座を受けた方を、保育園へ今年度から派遣しています。小学校の先生からもそういう方がいないかという話があり、受講生でグループや読みがたりの団体を作っていますので、図書館を窓口到学校や保育園などに紹介させていただいています。

議長：ありがとうございました。他にございますか。それでは、次の長野市立図書館基本計画に移らせていただきます。それでは説明をお願いします。

事務局：（会議資料：「(仮称) 長野市立図書館基本計画」の策定について により説明)

議長：ありがとうございました。

この計画には、長野市に予定されている県立大学のスタートが重なりますが、大学の図書館との連携は視野に入っているのでしょうか。

事務局：市内には、信大・清泉・高専など色々ございます。長野市は信大だとか高専と連携協定を結んでいますが、図書館も何か出来ないか、一部提案を頂いている部分はございますが、今そこまで検討が出来ていない状況です。今後、計画の中に盛り込んで連携を検討していきたいと考えています。

委員：策定委員会ですが、何時頃までに人選を予定しているのでしょうか。

事務局：今、リストアップさせていただいていますが、新年度の事業になりますのでお願いするのは新年度になってからになります。公募委員の募集も新年度になってからになります。

委員：計画の策定があるという広報は、どのようにするのでしょうか。

事務局：この間、社会教育委員の会議で説明しました。新聞にも出ましたし、議会にも説明させていただきました。広報等で募集するときも、こういう趣旨で募集すると掲載していきたいと思います。また、形が出来たところでパブリックコメントをとって、広く意見をいただきたいと思っています。

議長：他に何かございますでしょうか。

前に、この会議のときに話が出ていたと思いますが、他の自治体の図書館でカフェにある企業に入ってもらって、非常に入館者の数が増えたということで、様々な取り組みがあって、色々な可能性があるのではないかという話があったと思います。新しい計画では、こういったことも考慮に入れて計画されるということでしょうか。

事務局：検討はしたいと思います。長野図書館は30年前にこういう形で出来ていますので、カ

フェというのは難しいと思います。南部図書館はだいぶ老朽化しておりまして、改築も視野に入っています。改築する場合には、たとえば指定管理者を入れれば、そういった提案もあると思います。

議 長：南部図書館のほうから、これについて何かありますでしょうか。

事務局：現時点で改築については、どのような形、どのようなものを作るかという詳細なものはございません。指定管理者を導入することにより、どういう提案があるのか今後十分に検討したいと思います。

委員：新聞に出ていたので、ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、東京のほうの話だと思います。ハローワークみたいなパンフレット、今まではけなかったものが、トイレに置いたところあつという間にはけたという話です。これは、ハローワークの仕事で、図書館で扱うものではないと思っていたんですけど、色々な所から色々な目で見るということが大事だと思いました。図書館というものは、こういうものでこういう仕事をするんだというのではなく、その地域にあった斬新的な考えがあってもいいのかなと思いました。

事務局：新聞は読んでいないんですが、求人案内のパンフレット等は入口に私どもも置いてありますが、どのくらいの人が持っていつているかはわかりません。もう少しPRしようかと思っています。3月14日に、北陸新幹線が開通したということで、1階に長野市、上越市、富山市、金沢市の観光パンフレットを置いたところ、はじからはけていきました。色々自由に考えられるかなと思いますが、どこまでやればいいのか難しいところです。

議 長：他にございますでしょうか。(4)にその他とありますが、何かございますでしょうか。

事務局：特にございません。

議 長：それでは、以上を持ちまして協議事項を終了させていただきます。

事務局：ご熱心にご協議をいただきまして、ありがとうございます。全体を通して意見等ございますか。それでは、閉会に当たりまして藤沢次長より挨拶を申し上げます。

藤沢教育次長：皆さん、大変熱心にご協議いただきましてありがとうございます。様々な意見をお聞きしまして、特に高齢者向けのサービスをどうしていくかとか、活用ということで例えばハローワーク的な活用はどうか、読みがたりの話もいただきました。私どもとして、既存の事業をもっとPRしていかなければいけないと感じました。併せて、新しい形としての活用方法も十分研究していかなければと思いました。待ちの姿勢ではなく、少し頭を柔らかくして、対応していかなければならないと強く感じました。図書館自体というのは、原点だと思いますが多くの人に本に親しんでいただくという意味で、知の拠点と考えています。

また、工事の関係で暫くご迷惑をおかけしますが、これから業者が決まり工事時期についても何時ごろ実施すればいいのか、その間何かしら対応しながら、皆様方にサービスの低下を少しでもくいとめていく形で対応してまいりたいと考えていますので、よろしく願いいたします。

本日が、皆様方の任期の中では最後の会議となります。2年間大変ありがとうございました。新年度の中で、ご退任される方、継続してお願いする方もいらっしゃると思いますが、協議会のみならず色々な場面で率直なご意見やご指導いただければと思います。特に来年度は、基本計画策定ということでございます。色々なご意見を更に頂ければと思います。本日は、大変ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

事務局：皆さん大変ご苦勞様でした。これをもちまして、平成26年度第2回長野市立図書館協議会を閉会させていただきます。本日は誠にありがとうございました。